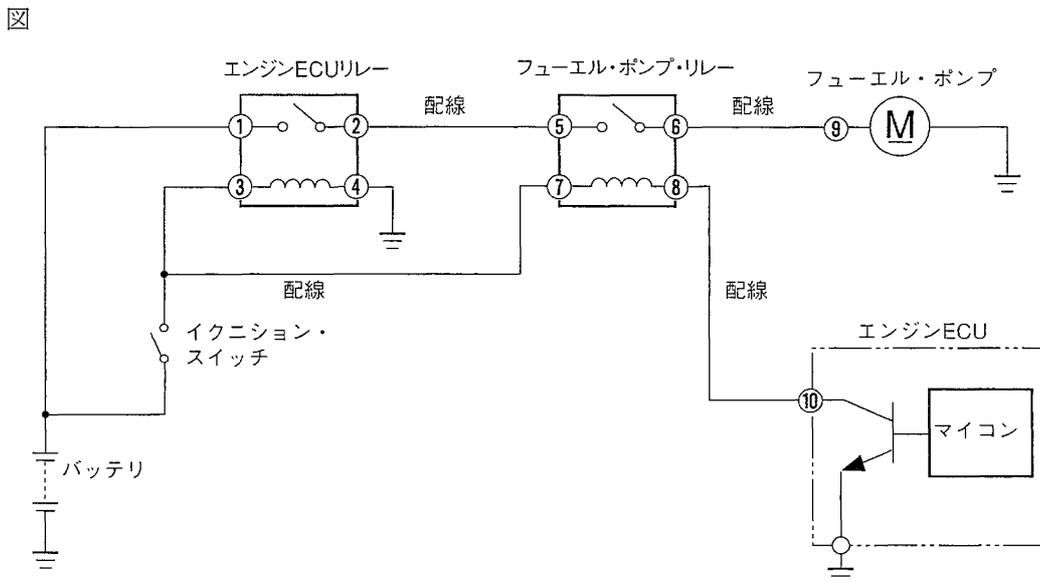


平成17年12月 検定試験

【No.37】 「エンジン警告灯は点灯していない（ダイアグノーシス・コードは正常コードを表示）が、エンジンが始動しない。」という自動車において、外部診断器を使用してフューエル・ポンプを強制駆動し、アクティブ・テストを行った。このときの図における各端子の電圧測定結果の表をもとに診断した不具合要因として、**不適切なものは次のうちどれか。**
 (バッテリー電圧は12Vとし、重複不具合はないものとする。)

- (1) フューエル・ポンプ・リレー・コイルの断線
- (2) ⑥端子と⑨端子間の配線の断線
- (3) フューエル・ポンプ・リレーの接点不良（非導通状態）
- (4) ⑧端子と⑩端子間の配線の短絡（地絡）



表

端子⑤とボデー間の電圧	端子⑦とボデー間の電圧	端子⑧とボデー間の電圧
12V	12V	0V